

大竹市民の幸せ感に関するアンケート(一般)



問い合わせ 企画財政課 ☎2125

結果の公開
調査結果の詳しい内容は、わがまちプラン後期基本計画の数値目標達成状況とともに「行政評価報告書」としてまとめられます。情報公開コーナー(市役所2階)、各支所、図書館、市ホームページでご覧ください。



わがまちプラン(第五次大竹市総合計画)のめざす「大竹市に住んでよかった」と思えるまちづくりに役立てるため、市民の皆さんの幸せ感に関するアンケートを平成23年度から実施しています。

現在の状況を回答いただく一般用と、前年度と比較して回答いただくモニター用のアンケートを6月に実施しました。今回は、一般用アンケートの回答結果を報告します。

一般用アンケート結果
市内在住で満18歳以上の方から無作為抽出した1500人を対象に行い、298人から回答がありました。ご協力ありがとうございました。

一般用アンケート

問	項目	設問の「はい」		項目の「はい」		結果概要	
		割合(%)	順位	割合(%)	順位		
問1	まち生活基盤が整った	地域産業が盛んでまちに元気があると思う	39.6 (35.3)	14位 (14位)	52.6 (50.5)	4位 (4位)	「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整って暮らしやすい」の設問(3位:68.1%)は、前年度より2.6ポイント上がり、調査開始以来初めて3位になりました。項目全体の幸せ感も2.1ポイント増えましたが、順位は4位と変わりませんでした。
		目的地までの移動がしやすいまちだと思ふ	50.0 (50.7)	12位 (10位)			
		道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整って暮らしやすい	68.1 (65.5)	3位 (4位)			
安全なまち	安全なまち	災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思ふ	88.9 (78.2)	1位 (1位)	64.8 (59.9)	1位 (1位)	「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思ふ」(1位:88.9%)は、幸せ感が飛びぬけて高い設問で、常にトップクラスを維持しており、今年度も1位です。この項目だけが3つの設問すべてで前年度よりポイントを増やしており、その結果、4.9ポイントの増と項目1番の伸びを見せ、幸せ感は6割を超えました。
		消防団や自主防災組織等の活動が活発で、地域住民の防災意識、危機管理意識は高いと思ふ	53.7 (50.1)	8位 (11位)			
		自主防災組織の活動、救命講習、交通安全運動などに参加したいと思ふ	51.7 (51.3)	9位 (9位)			
安心できるまち	安心できるまち	困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思ふ	54.0 (59.4)	7位 (6位)	51.1 (49.9)	5位 (5位)	「困った時などには、地域に暮らす人同士での助け合いができるつながりがあるので安心だと思ふ」(7位:54.0%)は、前年度より5.4ポイント減と、最もポイントを下げました。「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ」(15位:29.2%)の幸せ感は3割を下回り、項目全体の幸せ感を下げています。
		生活習慣の改善に取り組んだり、健康診断や健康づくりに参加したりするなど、自分の健康管理に日頃から気を付けている	70.1 (67.5)	2位 (3位)			
		地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ	29.2 (22.7)	15位 (15位)			
心にゆとりを感じ	心にゆとりを感じ	やりたいことや夢中になれることがあり、生活が充実している	55.4 (58.5)	6位 (7位)	56.2 (56.6)	2位 (2位)	全ての設問で半数以上の方が幸せ感を感じており、設問ごとのポイントの偏りも比較的少ない項目です。幸せ感が2番目に高く、最もバランスがとれている項目です。
		地元の歴史、伝統文化、地域行事に市民として誇りや愛着を感じている	50.3 (49.6)	11位 (12位)			
		環境美化の取り組みが進んでおり、まちがきれいだと気持ちがいい	62.8 (61.6)	5位 (5位)			
大竹を誇りに思ふ	大竹を誇りに思ふ	大竹のよいところを知っている	42.3 (41.7)	13位 (13位)	53.9 (56.4)	3位 (3位)	「大竹のよいところを知っている」(13位:42.3%)の幸せ感は毎回13位と低く、他の2つの設問は前年度よりポイントが減少しました。この結果、項目の順位は3位と変わりませんが、前年度に比べ2.5ポイント減と、幸せを感じる人の割合が最も減少した項目となりました。
		市外の人に大竹の悪口を言われたら腹が立つ	51.3 (56.0)	10位 (8位)			
		あなたの暮らす地域が好きだ	68.1 (71.4)	3位 (2位)			
問1全体の幸せ感(「はい」の割合(%))		55.7 (54.6)				漠然とですが、半数を超える人が幸せ感を感じながら日常生活を送っています。	
問2	市民自治	あなたの暮らす地域のことについて、興味をもっている	54.0 (52.7)	47.0 (45.9)		2つの設問とも前年度よりポイントを上げています。市民自治の考え方は、半数程度の人に受け入れられているようです。	
		自分でもできれば何か地域の役に立てようと思ふことをやってみたい	39.9 (39.2)				
問3	あなたが心配に思っていることについて、どうすれば、その心配を解消できると思ふか、あなたの考えを教えてください。	自由記述による回答					
問4	大竹市でのあなたのイチオシについて教えてください。						
問5	あなたはどのような時に幸せを感じますか。最近「幸せだな」と感じたことを教えてください。						
※ ()は前年度調査結果							

同率で3位にランクイン
多少の順位の変動はあるものの、上位3位、下位3位の設問は6年間同じでしたが、今回初めて「道路、公園、上下水道、水路などの基盤整備が整って暮らしやすい」が同率3位に入りました。

晴海臨海公園の記述が増えており、4月にオープンした大型複合遊具広場が順位を上げた一因と思われます。

1番の伸びでダントツ1位
「災害、犯罪、事故などが少ない安全なまちだと思ふ」は、前年度より10・7ポイント増と1番の伸びを見せ、2位以下

の設問との差を更に広げました。88・9%という幸せ感は、過去最高の数値です。

近年頻発する災害でも、本市に人的被害がなかった結果と想われます。早くから、ダム整備や急傾斜対策に取り組んできたことの効果と考えています。それでも大地震や豪雨など

の災害への心配、街灯の少なさへの不安などが寄せられました。

2番目の伸びも最下位変わらず
「地域福祉に関するボランティア活動等に参加してみたいと思ふ」は、前年度より6・5ポイント増と2番目に高い伸びを見せましたが、依然とし

て最下位で、幸せ感を感じる人は3割に届きません。

仕事や本人・家族の健康上の理由などにより参加できない人が多いようです。一方、参加したいという人は、高齢者の手伝いや話し相手、子どもの見守り活動など、色々な活動に興味を示しています。

なぜ、野焼きは禁止なの

ごみ処理施設では、高度な設備により適正に処理されますが、野焼きでは、燃やすものによっては、ダイオキシンなどの有害物質が発生するおそれがあります。

また、煙が家の中に入ったり、煙の臭いが洗濯物につくなど、周辺的生活環境に悪影響を及ぼしたり、火災の原因になったりします。

法律に違反すると、どうなるの

「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」により、悪質な焼却行為を行った場合には、5年以下の懲役もしくは1000万円以下の罰金またはその両方が科せられます。



野焼きへの苦情が増加しています

野焼きに対する市民からの苦情や相談が、近年、増える傾向にあります。

農業を営むなどの一部の例外により、やむを得ず行う野焼きであっても、周辺の住宅環境に影響を及ぼし、苦情などの通報があった場合には、行政指導の対象となり、焼却を止めよう場合があります。

野焼き禁止の例外

野焼き禁止の例外として、法律などで定められています。が、「やむを得ないもの」や「軽微なもの」に限られています。

むやみに焼却しても良いというものではありません。できる限り最小限にとどめてください。

- ◎とんど焼きなど、風俗習慣上または宗教上の行事を行うために必要な焼却行為
- ◎農業・林業・漁業などを営むために、やむを得ず行われる焼却行為
- ◎たき火、キャンプファイヤー、バーベキューなどの日常生活を営む上で通常行われる焼却行為

せん定枝などのリサイクルセンターへの持ち込み
せん定枝などが多量となった場合は、ごみ収集カレンダの「せん定枝等の日」に、指定ごみ袋を使用してごみステーションに出すことができます。また、リサイクルセンターに直接持ち込むこともできます。この場合、指定ごみ袋を使用する必要がなく、またごみステーションにごみ出しするよりも大きなサイズで持ち込むことができます。

ただし、予約をしてください。

詳しくは、「大竹市ごみ収集カレンダー」をご覧ください。(市ホームページにも掲載しています)

「野焼き」は法律で禁止されています！

問い合わせ 環境整備課リサイクルセンター ☎5101

毎年、秋から冬にかけて、せん定した庭木や畑の枯草などを焼却する、いわゆる野焼きが増えます。野焼きは、一部の例外を除いて、法律により禁止されています。